



学校における指導

1 教科・特別活動等における教育指導

「体の健康」、「心の育成」、「社会性の涵養」、「自己管理能力の育成」を目標として、年間指導計画を立てて指導を行う。

(1) 給食指導

学校給食の献立を「生きた教材」として活用することで、子どもには理解しやすいものとなる。また、給食は学校と家庭、学校と地域を結ぶ手立てとなる。

●毎日の5分間指導

「主食・主菜・副菜について」「地域の産物と郷土料理について」「食品の知識」等

●セレクト給食、バイキング給食の実施を通しての指導

「食事のバランス」「適正な食事の量」「自分にあった食事」等

●異学年との交流給食や地域の方やお年寄りを招く招待給食

「共に食事をする楽しさ」「食事のマナー」

(2) 特別活動（学級指導等）における指導

子どもの食の実態を踏まえて食生活学習教材（文部科学省）等を活用し指導することが効果的である。

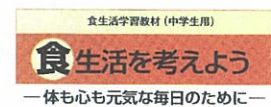
「朝食はなぜ必要か・どのようにとればよいか」

「野菜の役割」「おやつのととり方」

「成長曲線と発育の特徴」「スポーツのための効果的な食事」

(3) 総合的な学習の時間や教科等における指導

総合的な学習の時間に「食」を学習課題に位置づけて指導することが効果的である。



2 個別的な指導

(1) 好き嫌いの多い子どもへの指導

(2) 「肥満」「やせ」の傾向を持つ子どもへの指導

(3) 特別な疾病を持っている子どもへの指導

高脂血症、食物アレルギー、インシュリン依存型、糖尿病等



家庭から学校へ支援

- ・試食会・食フォーラムへの参加
- ・「我が家の料理コンテスト」「朝食コンクール」等への応募。
- ・「給食だより」や「献立表」の献立を参考にした家庭での料理づくり
- ・「料理教室」や「授業参加」における集団での料理づくりへの参加

具体的な指導例



学校と家庭や地域との連携

1 家庭の理解を深める活動

- (1) 給食試食会や親子料理教室を開催し、成長期に望ましい食事や生活習慣病を予防する食事等について給食の献立等を通して啓発
- (2) 朝食キャンペーンを夏・冬休み期間に実施
- (3) 給食だよりの配布、食に関する講習会の開催
- (4) 学校保健委員会における子どもの食の問題点に関する協議

2 地域へ広げる活動

- (1) 総合的な学習の時間等に地域で活動する
- (2) 子どもが地域の商店で調べた食材を使って作成したレシピ集やポスターを配布
- (3) 地域で生産される「ふるさと食材」調べ
- (4) 給食に地域の産物を活用したり、郷土料理や行事食を取り入れたりする



地域から子どもを支援

- ① 地域の産物を給食へ供給する。
- ② 地域の住民が「ふるさと先生」として授業したり、招待給食会に参加したりする。
- ③ 地域保健センターが貧血検査等を行い、学校での個別指導に役立つ。